

令和元年9月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

輸出額は「自動車」などは増加したものの、「石油製品」、「有機化合物」などが減少したことから、伸率（対前年同月比）12%の減少となった。また、輸入額は「液化天然ガス」などが増加したものの、「石油製品」、「原油及び粗油」などが減少したことから、同2.3%の減少となった。

これにより差引額は、643億円の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	619億円	▲12.0%	1,262億円	▲2.3%	▲643億円	+9.3%
	5カ月連続の減少	3カ月連続の減少				

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)自動車	32億円	15倍	輸入	増加品目	(1)液化天然ガス	232億円	+22.4%
		(2)自動車の部分品	61億円	+10.5%			(2)非鉄金属鉱	11億円	+359.4%
		(3)原動機	22億円	+12.8%			(3)その他の採油用種子	9億円	+671.2%
	減少品目	(1)石油製品	31億円	▲57.1%		減少品目	(1)石油製品	25億円	▲69.1%
		(2)有機化合物	44億円	▲23.1%			(2)原油及び粗油	660億円	▲4.3%
		(3)その他の化学製品	16億円	▲41.8%			(3)半導体等電子部品	6億円	▲56.2%
	地域別動向				地域別動向	増加：大洋州 減少：中東欧・ロシア等、北米			

（参考）ドルレートは、106.69円（前年同月比4.0%、4.44円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。